

整理番号	44001
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年11月11日
事業担当課	教育委員会施設課
担当者・内線	時川・3832

《基本情報》

事務事業名	運営費(民間プール等活用に係るモデル事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 新規
			<input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	G1 次代を生きぬく子どもを育みます		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	子どもが	将来の夢や希望を自らの言葉で語り、実現に向けて努力している。	
個別施策	G1-4 子どもが安全・安心に学べる教育環境を整備します		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	子どもが	安全で安心な学校生活を送っている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	学校プール施設の約7割が、建設から30年以上経過し老朽化が進み、その多くが一気に更新時期を迎えている。 こうした中で、学校プール施設は更新時に多額の費用がかかる、ランニングコストが多額、屋外施設のため天候に左右されるなど、費用対効果が限定的であるため、1校1施設の必要性について検証を行う必要がある。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	更新時期を迎えている学校について、民間プール等の施設を活用することで、施設の最適化及び教育環境の改善を図る。
課題(どういことをする必要があるので)	民間プール等活用に向けて、実施するうえでの課題の洗い出しを行うとともに、事業の有効性について検証を行う。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有 ・無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>学校プール施設の約7割が老朽化し、その多くが更新時期を迎えていることから、施設整備に多額の費用がかかることが想定される。また、ランニングコストについても多額の費用がかかっている。</p> <p>他都市においては、水泳授業で民間施設を活用する動きが広まっており、従来のプール整備や維持管理に係る費用が不要になることでコスト削減が図られること、専門の指導員からの指導による泳力向上が期待できること等が挙げられている。</p> <p>これらのことから、民間プール等活用に向けて、導入初年度については、実施するうえでの課題の洗い出しを行い、事業の有効性について検証するため、モデル事業を実施するもの。</p> <p>【参考】 検証する課題 (1)受入体制として、どの程度の児童・生徒数(学校数)の受入が可能か。 (2)効率的・効果的なカリキュラムの編成が可能か。 (3)児童・生徒の安全・安心な移動手段・指導体制が確保できるか。 (4)各学年の指導計画に沿った技能等の向上が期待できるか。 (5)教職員の負担軽減につながるか。</p> <p>【事業期間】令和3年度 【総事業費】7,312千円</p>
--	---

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)	【実施予定校】 日吉小中学校 事業費(送迎込み) 1,204千円 西浦上小学校 事業費(送迎込み) 1,750千円 西山台小学校 事業費(送迎込み) 2,772千円 大浦中学校 事業費(送迎込み) 1,586千円					
業務量の増減	395時間の増 56時間の減(プール修繕業務等の減)					
市民等の参画と 協働のまちづくり (取組みに☑をし、 その内容を記載)	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働					
	民間プール等の施設を活用し、授業計画や実技指導に対して専門スタッフからの助言を得ることで、授業の質の向上を図るとともに、天候に左右されない安定的な水泳授業機会の創出を図る。					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)					
予算額	金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	7,312	0	0	0	7,312
	総額	7,312	0	0	0	7,312
	財源名称					
成果(活動)指標	指標(単位)	民間プール等の受け入れ規模に対する充足割合(%)				
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標値	20	50	100	100	100
	成果指標及び 目標値の説明	<p>民間プール等の活用を実施した場合の充足割合を成果指標とする。</p> <p>現在、モデル事業実施前に調査を行った結果、民間プール等の受け入れ規模(人数)は市内の総児童・生徒数に対して約22%程度である。このように民間プール等の施設は受け入れ規模に限りがあることから、可能な限り多くの学校が活用するため、受け入れ規模に対する充足割合を成果指標とした。</p> <p>また、民間プール等の受け入れ規模である22%に対して、令和3年度は、モデル事業を実施する4校分の児童・生徒数で20%、令和4年度は50%、令和5年度は100%と、3カ年で充足するように、段階的に学校を民間プール等へ移管することを目標とした。</p> <p>※なお、成果指標及び目標値は、モデル事業の結果を基に民間プール等の活用を実施する場合のものとする。</p>				

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>学校プール施設の約7割が建設から30年以上経過し、建て替えや大規模改修を行う時期を迎えている中、長崎市公共施設の用途別適正化方針において複数校での共同利用を検討することとしている。</p> <p>学校プール施設においては、更新時だけでなく、ランニングコストに多額の費用がかかることや、天候に左右されることなどから、民間プール等の活用について検討するため、民間プール等の活用に係る課題の洗い出し、事業の有効性について検証するモデル事業を実施するものである。</p> <p>民間プール等の活用に係るモデル事業を実施し、効果的・効率的な学校プール施設の運営について検討を進めることで、安全で安心な教育環境の提供につながることから、事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。</p>	
【市長ヒアリングまでに(予算計上にあたって)整理すべき事項】	
<ul style="list-style-type: none"> ・民間プールまでの送迎において事故が発生した際の対応を整理すること。 ・学校プールの今後のあり方について、分かりやすく示すこと。 	